第16講　明治維新と立憲国家の成立
PART5 自由民権運動の拡大と激化・衰退

Chapter 1　自由民権運動の拡大と政党の成立

目標
自由民権運動が拡大したのはなぜだろう？
初めてできた政党について知ろう。

1　自由民権運動の拡大

1878年　**（地方）三新法〔郡区町村編制法・府県会規則・地方税規則〕**

※士族反乱や農民一揆が前年に収まったことで確立された，初の統一的地方制度。

愛国社が第２回大会で再興（大阪）

※「士族民権」から寄生地主・商工業者参加の「豪農民権〔豪商民権〕」へ。

1879年　愛国社第３回大会（大阪）

1880年　愛国社第４回大会（大阪）

※別組織として〔1　　　　　　　　　　〕が発足。

河野広中・片岡健吉が上京し，

太政官や元老院に国会開設請願書の提出を試みるが拒否される。

〔2　　　　　　　　〕

※政治結社・集会の届け出制や，屋外集会の禁止などを規定。

1881年　**開拓使官有物払い下げ事件**

※翌年に廃止予定だった開拓使の開拓長官〔3　　　　　　　　〕が，

同じ薩摩藩出身の政商**五代友厚**が経営する関西貿易社に対し，

不当な低価格で官有物を払い下げようとしたことが露呈。

藩閥の横暴だと世論の攻撃を浴び中止となる。

〔4　　　　　　　　　　　　　　〕→大久保利通死後の主導権争い

※イギリスの議院内閣制をモデルに国会の早期開設を主張する

参議〔5　　　　　　　　〕を，

時期尚早とする右大臣岩倉具視・参議〔6　　　　　　　　〕らが罷免。

※同時に欽定憲法制定の基本方針を決定，

国会開設の勅諭を発布して1890年の国会開設を公約した。

2　民権論の高揚と政党の結成

①民権論の高揚

『民約訳解』（**中江兆民**），『天賦人権論』（馬場辰猪），

『天賦人権弁』**『民権自由論』**（［7　　　　　　　］）など。

※女流民権家の**岸田〔中島〕俊子，景山〔福田〕英子**，楠瀬喜多ら。

②［8　　　　　　　］

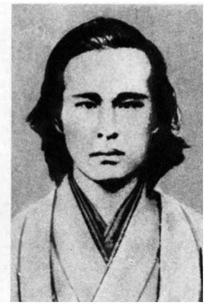
A　民権派

『東洋大日本国国憲按』（**植木枝盛**，抵抗権・革命権を定め急進的），

『日本憲法見込案』（立志社），

『五日市憲法草案』（千葉卓三郎が住民の討論を基礎に起草），

『私擬憲法案』（**交詢社**）など。



植木枝盛

B　国権派

『国憲意見』（福地源一郎〔桜痴〕）など

③**政党**の結成

A　［9　　　　　　］（**1881～84年**）→民権派の左派

［10　　　　　　　］を党首に**フランス流**急進主義の**主権在民，**

一院制，普通選挙を唱え，不平士族，豪農・豪商，貧農たちの支持を得る。

B　［11　　　　　　　　］（**1882年～**）→民権派の右派

［12　　　　　　　］を党首に**イギリス流**漸進主義の**主権在君民〔君民同治〕，**

議院内閣制に基づく二院制，制限選挙を唱え，**福沢諭吉**ら知識人，

三菱の岩崎弥太郎ら都市実業家たちの支持を得る。

C　**立憲帝政党**（**1882～83年**）→国権派

福地源一郎〔桜痴〕を党首に**ドイツ流**国家主義の**主権在君，二院制，**

制限選挙を唱え，官僚，神職，僧侶，国学者，漢学者〔儒学者〕などの支持を得た。

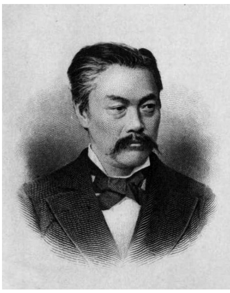
まとめ
（地方）三新法の制定により，自由民権運動参加者の裾野が広がった。
フランス流急進主義の自由党，イギリス流漸進主義の立憲改進党，
ドイツ流国家主義の立憲帝政党が結党され前者２党が民権派政党だった。

Chapter 2　松方デフレと民権運動の激化・衰退

目標
松方デフレが民権運動の激化につながったのはなぜだろう？
大同団結運動が起こったのはなぜだろう？

1　松方財政

①**松方デフレ財政**


松方正義

1881 ～ 86 年，薩摩藩出身の大蔵卿（のち大蔵大臣）
〔1　　　　　　　　〕が，インフレ〔物価高〕の収拾と
安定した貨幣制度の確立を目的に緊縮・デフレ政策を行う。
※**増税**による歳入増加，軍事費を除く
緊縮財政〔デフレ財政〕による歳出減少を図り，
銀本位制の貨幣制度を確立。

1882 年　中央銀行として〔2　　　　　　　　〕を設立
1883 年　国立銀行条例再改正→紙幣発行権を取り上げ普通銀行に転換
1884 年　工場払下げ概則を廃止し**官営事業の払い下げ**を進める
1885 年　銀兌換の日本銀行券発行を開始→翌年から政府紙幣の銀兌換を開始

②松方財政の影響→デフレ下では定額税の地租が実質的に増税となる

A　**深刻な不況**→増税と不換紙幣回収による物価下落（＝**松方デフレ**）
B　寄生地主制の発展と小作農・都市貧民の創出
C　経営難・生活難のため**豪農・豪商が手を引き自由民権運動が急進化**

2　自由民権運動の再編（激化→衰退→再燃）

①民権運動の転換→「農民民権」へ

A　岐阜事件（1882 年，「板垣死すとも自由は死せず」）
B　**政府・三井の出資による板垣退助・後藤象二郎の外遊問題**をめぐる自由党の内紛
C　自由党（民権派左派）と立憲改進党（民権派右派）の対立
D　政府による弾圧の強化→集会条例改正（1882 年）・新聞紙条例改正（1883 年）
E　**松方デフレによる豪農層の民権運動離脱と運動の急進化**
F　**国会開設の勅諭による自由党の準備政党化**

②**激化事件**と民権運動の衰退（1882 ～ 86 年）

1882 年　〔3　　　　　　　　　〕**（福島県）→**県令**三島通庸** vs 県会議長河野広中ら

1883 年　高田事件（新潟県）

1884 年　群馬事件（群馬県）・**加波山事件（茨城県）**

自由党解党→統率の自信を失った指導部が決議

〔4　　　　　　　　　〕**（埼玉県）**

※旧自由党員らが，

困民党を称する約 3000 人の困窮した農民たちを間接的に支援。

多数の民衆を加えて約 1 万人が蜂起。軍隊が出動して鎮圧した**最大の激化事件**。

名古屋事件（愛知県）・飯田事件（長野県）

党首の大隈重信ら幹部が立憲改進党から離党

1885 年　大阪事件（大阪府）

※朝鮮に渡ろうとした**大井憲太郎・景山英子**ら旧自由党左派を検挙。

1886 年　静岡事件　（静岡県）

③**民権派の再結集→**条約改正問題が紛糾すると民権派が再び台頭

1886 年～大同団結運動の提唱→はじめ**星亨**のち**後藤象二郎**が中心

※国会開設を前に，民権派（旧自由党と立憲改進党）の結集を目指す運動。

井上馨外相の鹿鳴館外交への反発により拡大。

1887 年　〔5　　　　　　　　　　　　　　　　〕

※地租の軽減，言論・集会の自由，外交失策の回復を要求して民権派が上京。

④政府による弾圧と懐柔→民権派は混乱するが政党の再建へと向かう

1887 年　〔6　　　　　　　　　〕

※伊藤博文首相・山県有朋内相・三島通庸警視総監の下で制定。

民権派 570 名を皇居外 3 里の地に 3 年間追放。

大同団結運動は東北を中心に継続。

1888 年　大隈重信が第一次伊藤博文内閣のち黒田清隆内閣の外務大臣として入閣

1889 年　大日本帝国憲法発布→大赦をうけた民権家たちが復帰

後藤象二郎が黒田清隆内閣の逓信大臣として入閣

まとめ

豪農・豪商層が運動から離脱したので，農民たちの民権運動が激化した。
鹿鳴館外交への反発があり，民権派が大同団結運動で再結集した。

第 16 講　PART 5　確認問題

1　政府が政治結社の請願運動の取り締まりを強化するため，1880 年に出した法令はどれか。

①　新聞紙条例　　②　集会条例
③　讒謗律　　④　保安条例

2　開拓使官有物払い下げを実施しようとした開拓長官はだれか。

①　黒田清隆　　②　片岡健吉
③　榎本武揚　　④　河野広中

3　植木枝盛が著したのはどれか。

①　『天賦人権論』　　②　『民約訳解』
③　『西洋事情』　　④　『民権自由論』

4　私擬憲法のうち，千葉卓三郎が起草したのはどれか。

①　『私擬憲法案』　　②　『日本憲法見込案』
③　『五日市憲法草案』　　④　『東洋大日本国国憲按』

5　1882 年に政府が設立した中央銀行はどれか。

①　国立銀行　　②　農工銀行
③　日本銀行　　④　第一国立銀行

6 旧自由党員らが困民党と称する農民たちを間接的に支援したのはどれか。

① 秩父事件　② 岐阜事件
③ 福島事件　④ 加波山事件

7 大阪事件で，検挙された旧自由党左派はだれか。

① 大井憲太郎　② 大山巖
③ 山田顕義　④ 三島通庸

8 大同団結運動を最初に指導したのはだれか。

① 片岡健吉　② 河野広中
③ 三島通庸　④ 星亨

第16講　PART5　確認問題 解答

1 解答：②

集会条例には，政治結社・集会の届け出制や，屋外集会の禁止などが規定されていた。①の新聞紙条例と③の讒謗律は 1875 年に出された。

2 解答：①

黒田清隆は，廃止予定だった開拓使の官有物を，政商・五代友厚が経営する関西貿易社に不当な低価格で払い下げようとしたが，世論の攻撃を浴びた。

3 解答：④

①の『天賦人権論』は馬場辰猪，②の『**民約訳解**』は**中江兆民**，③の『西洋事情』は福沢諭吉が著した。

4 解答：③

①の『**私擬憲法案**』は**交詢社**，②の『日本憲法見込案』は立志社，④の『**東洋大日本国国憲按**』は植木枝盛が起草した。

5 解答：③

日本銀行は，**松方正義**大蔵卿の建議を受け，日本銀行条例に基づいて設立された。

6 解答：①

秩父事件は，軍隊が出動して鎮圧した最大の激化事件。

7 解答：①

大阪事件では，朝鮮に渡ろうとした**大井憲太郎**，**景山英子**ら旧自由党左派が検挙された。

8 解答：④

大同団結運動は，はじめ**星亨**のち**後藤象二郎**が中心となった。②の河野広中は，福島事件で③の県令**三島通庸**と対立した県会議長。